

第2回（平成25年10月24日実施）

〔 現状報告 〕

- ① 授業アンケート（第1回）について
- ② スタディサポート（第2回）について
- ③ 学校説明会等について
- ④ 自治会生徒との懇談

〔 質疑・協議事項 〕

Q. 授業評価結果の典型例を示してほしい。

A. 次回、第2回の結果を示す予定。

Q. 大学では授業者にリフレクションペーパーを提出させ、授業改善を求めている。

A. 教員の振り返りの機会を設ける。

□ 学区制撤廃により、沿線別に動きがある。H26の動向が持続拡大するだろう。流出分（河内長野など）が入り込むところがない。生野、富田林、河南の3校が苦戦するとの予想が多い。

Q. 志願者を確保するには特色をさらに打ち出す必要がある。進路実現、部活動、国際化 etc. 通学距離があっても河南に行きたいという特色がほしい。

A. eコースがそれにあたると自負している。さらに多様な魅力を打ち出したい。

Q. 高校入試では、親と塾の意向が強い。そこにアピールするという発想も必要。地域と密着する努力も続けてほしい。

A. 関わりを強める努力を続けていく。